平成21年度第2回中原区区民会議協働推進事業検討部会 摘録

日 時：平成21年9月24日（木） 午後1時00分～午後2時30分

場 所：中原区役所5階503会議室

出席者：横川部会長、松原副部会長、川連委員、佐野委員、富岡委員、本目委員
小野寺副区長、齋藤企画課長ほか区役所関係課職員

傍 聴：なし

報 道：なし

次 第

1 開会

2 中原区区民会議協働推進事業検討部会要領について

3 会議録確認委員の選任

富岡委員を選任

4 議題

(1) 平成22年度中原区協働推進事業計画案について

資料2, 3を用い事務局が説明

主な意見

《平成22年度事業について》

「中原街道時代まつり支援事業」「中原街道歴史シンポジウム事業」について、
「歴史シンポジウム事業」と“中原街道”の名前が消えてしまっているのか。
中原街道時代まつりは、実行委員会が組織され企画・運営されている、シンポジウムは区の事業としてNPOへ委託し実施している。それぞれ分担・調整しながら行って、同日に開催予定。“中原街道”の名前が消える事はないと思う。
(地域振興課)

子育て支援事業が充実していて良いと思う。

「子育て支援者養成事業」とはどのような事業か。

中原区は子育て世代が多い区となっている。子育て支援に携わる人が少ないと言うのが現状なので、街なかの子育て支援を手伝ってくれる人を増やす事を目的としている。(こども支援室)

各地区で行われている、子育てサロンは広報が行き届いているせいか参加者が増えすぎていることが問題となっている。会場のキャパシティや対応する人の人数不足が課題としてある。(委員)

子育てサロンの場所を増やして欲しい。高層マンションの1階に多目的ホールのような設備があって誰でも使えるようになればよいと思う。

(平成21年度事業の)防災ネットワークエリアマップ作成事業について、こ

これは21年度中に地図が出来上がるのか。消防署でもっているデータなどの活用を検討して欲しい。

21年度中に完成する予定となっている。また、配布方法等マップの活用方法が検討課題としてある。(地域振興課)

防災ネットワークエリアマップの何が最新情報なのか。

個人情報に掲載する事は出来ないが、地図情報を再開発などの状況に合わせて最新の物を掲載している。また、AED設置場所など、消防署で持っているデータの活用も図っていく。(地域振興課)

要援護者が中原区には3000人位いるらしいが、区では全員を把握しているのか。

把握数は半数程度まで進捗している。(地域振興課)

民生委員では、独自に地域のマップを作成している。地域の自主防災組織で活用する事を想定しているが、地域によっては組織がまだしっかりしていない。マップを活用した訓練など実施したいが出来ていないのが現状。地域との連携が必要だと思っている。

孤独死は、地域の中では相当数ある。見守りネットでは、未然に防ぐ事は出来ず、発見を早める事しかできない。常日頃からの隣近所の付き合いが重要だと思う。

公的に設置された老人ホームが少ないように思う。

区役所サービス向上事業について、区役所に寄せられるクレーム件数の推移はどうなっているか。

相対的には減ってきている。(区民課)

区役所サービス検討委員会とはどのような事をやっているのか。

職場研修の企画や、区役所の窓口巡回などを通じ、サービスの向上について検討を行っている。

笑顔があるのはいいことだと思う。笑顔は接客の基本となる。

来庁者全員に平等に接して欲しい。顔見知りには親しくし、初めての人には無愛想では困る。

子育て支援関係の事業が充実しているのはいい事だが、福祉系の事業も充実を図って欲しい。これからの時代は介護が必要となる。

市民提案型事業について、地域の特性を活かした事業の推進を図って欲しい。

以上